

監査系

科目名・単位数	監査論Ⅰ 2単位	科目分類	監査系	基本科目	
配当年次	1年次・春学期・昼・夜	担当教員	すえます ひろゆき 末益 弘幸		
履修形態	選択必修				
授業概要	<p>公認会計士は、企業の財務内容が適切であるかを第三者の立場で検討して、その結果を報告しなければならない。そのためには、公認会計士は、高度で専門的な会計知識を身につけていなければならないことはもちろん、それらの知識を公正に適用していく資質を持ち合わせていなければならない。このために、監査に関する内容を監査の総論・主体論、実施論、報告論の三つに分けて、監査論Ⅰでは総論・主体論を講義していく。近い将来、監査を行うこととなった場合に、どのような部分に着目してどのような判断を下すべきかを実践的に指導する。</p>				
到達目標	<p>独立した立場による監査人の監査業務に関して必要となる指針を学習する。</p>				
授業方法	<p>1. レジュメを中心に講義形式で行い、適宜、インターネットによる公開情報も閲覧する。 2. オンライン授業（オンデマンド型）と対面授業を適宜実施する。</p>				
事前・事後学習	<p>事前にレジュメを配布するので、通読し、聴講すべきポイントを整理しておくこと。（60分） 聴講後に原則、毎回課される課題レポートを作成・提出すること。（60分）</p>				
成績評価の方法	<p>原則、授業後に提出される課題レポートの内容に基づいて成績評価する。</p>				
フィードバックの方法	<p>課題レポートに関する回答例を示し、監査論Ⅰでの学習ポイントの定着化を図る。</p>				
履修上の注意	<p>監査概論と同程度の内容を学習していることを前提とする。</p>				
授 業 計 画					
第1回	<p>監査総論として、監査の意義及び必要性について講義する。現代監査の始まりを紹介したのち、会計監査、財務諸表監査の定義づけを行う。そして監査の分類の仕方の幾つかを説明し、監査の目的、社会的機能について解説する。</p>				
第2回	<p>監査と不正摘発をテーマにエクスペクテーション・ギャップや不正・誤謬・違法行為に関して考察する。</p>				
第3回	<p>わが国の監査制度である金融商品取引法監査制度と会社法監査制度について考察する。まず金融商品取引法監査では、有価証券の発行市場におけるディスクロージャー制度に関して説明する。</p>				

第4回	前回に続き、金融商品取引法監査に関して、有価証券の流通市場におけるディスクロージャー制度について説明する。
第5回	金融商品取引法で、四半期報告書と内部統制報告書について、その目的や経営者及び監査人の対応などを講義する。
第6回	会社法監査における監査役・監査等委員会監査及び会計監査人監査のそれぞれの内容と両者の関係について講義する。
第7回	「監査の基準」と「監査基準」の違いを取り上げ、一般に公正妥当と認められる監査の基準が、監査基準と品質管理基準及び日本公認会計士協会の倫理規則や各種委員会報告書等、そして監査実務慣行であることを明確にする。また、監査基準の意義と必要性及び監査基準の歴史の変遷について解説する。
第8回	監査人の人的要件に関して講義する。まず監査人の意義と種類について明らかにし、外部監査人である公認会計士の意義と資格取得に関して説明する。
第9回	監査法人について、その意義、共同事務所との違い、設立要件等、業務範囲、法人化のメリット・デメリットに関して考察する。
第10回	監査人の独立性について、まず精神的独立性の意義・必要性、それが要求される監査局面に関して解説する。次に外観的独立性の意義・必要性について考察し、特別の利害関係に関する解釈指針やチェックリストを紹介する。
第11回	正当な注意義務に関して、その意義とそれが必要とされる監査局面及び監査人の責任との関係を説明する。
第12回	不正・誤謬・違法行為による重要な虚偽表示の可能性への監査人としての対応について講義する。また監査調書について、その意義や作成目的、具備すべき質的要件、記載すべき内容、保持方法を解説する。
第13回	品質管理基準委員会報告書第1号「監査事務所における品質管理」と監査基準委員会報告書220「監査業務における品質管理」を教材として、その目的、品質管理システムのあるべき姿、保持すべき職業倫理などについて検討する。
第14回	前回に引き続き、監査の品質管理について学習する。また後半は、守秘義務について、必要性や要求内容・範囲、解除理由などを講義する。
第15回	監査論Iで講義した内容の総まとめをする。
テキスト	原則として、毎回レジュメを配付する。
参考図書	「会計監査六法」・「監査実務ハンドブック」（日本公認会計士協会出版局）